平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号 4116　URL http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋 弘二
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役理財部門担当　(氏名) 武市 義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	119,242	5.0	6,513	△3.7	7,209	1.0	4,365	△6.0
25年3月期第3四半期	113,613	△4.0	6,761	△2.7	7,137	4.4	4,644	26.3

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　8,199百万円　(71.7%)　25年3月期第3四半期　4,776百万円　(54.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	47.02	―
25年3月期第3四半期	50.02	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	167,835	65,195	37.6	679.31
25年3月期	157,211	57,954	35.7	604.42

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　63,071百万円　25年3月期　56,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
26年3月期	―	6.00	―		
26年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	0.7	9,200	13.9	8,900	3.4	5,600	△2.2	60.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	93,065,554 株	25年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	219,307 株	25年3月期	215,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	92,848,426 株	25年3月期3Q	92,853,575 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、経済・金融政策の効果などにより、円安・株高が進行し、企業収益や個人消費が改善するなど、景気は緩やかに回復してきました。海外経済は、米国では個人消費や設備投資が持ち直すなど緩やかな回復が続きましたが、アジアでは中国の成長ペースが鈍化するなど弱含みで推移しました。また、欧州では依然弱さが残るものの持ち直しの兆しが見られました。

この様な環境のもとで、当第３四半期連結累計期間の売上高は、円安のため海外子会社の円換算額が増加したことや洪水被害を受けたタイ子会社が復旧したことなどにより、1,192億４千２百万円（前年同四半期比5.0％増）となりました。利益面につきましては、営業利益は原材料価格の上昇に加え、本社ビル新築に伴い減価償却費が増加したことなどにより65億１千３百万円（同3.7％減）となりました。経常利益は、為替差益を計上したことなどもあり72億９百万円（同1.0％増）となりました。四半期純利益は、固定資産解体費用等引当金繰入額を計上したことなどにより、43億６千５百万円（同6.0％減）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行っております。ＩＴ関連業界向け情報記録関連材料は得意先の生産調整の終了や当社製品の本格採用などもあり引き続き好調に推移しました。また、塗料業界向けは住宅関連が消費増税前の駆け込み需要により好調に推移しました。一方で、印刷業界向けを中心とした顔料は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は178億１千９百万円（同2.5％増）、営業利益は29億１千５百万円（同1.2％減）となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行っております。車両業界向けの各種合成樹脂着色剤・コンパウンドは円安を背景に輸出向けが伸長し、国内においては消費増税前の駆け込み需要に加え、燃費性の高い軽自動車やＨＶ車の販売好調を受けて引き続き堅調な受注が続きました。また、洪水被害を受けたタイ子会社が復旧したことなどにより増収となりました。生活関連製品業界向けの合成樹脂着色剤も猛暑の影響による夏季需要や歳末ギフト向け等の年末需要もあり好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は647億３千２百万円（同6.8％増）、営業利益は30億１千２百万円（同10.2％減）となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。車両業界向けの内装用ウレタン樹脂は、米国市場の活況と当社品が採用されている新車種立ち上げの相乗効果により期を通じて好調に推移しました。また、関連製品の電絶ワニスも車載用途を中心に堅調に推移しました。しかしながら、衣料品用のウレタン樹脂は国内外向けともに低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は132億９千４百万円(同7.0％増)、営業利益は23億５千８百万円（同3.6％増）となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。国内向けグラビアインキのパッケージ業界向けは、期前半は猛暑の影響もあり飲料関係を中心に堅調に推移しました。また、建材業界向けは消費増税前の駆け込み需要による住宅着工の増加もあり期を通じて好調に推移しました。オフセットインキは景気の緩やかな回復の影響を受け流通関連の商業印刷業界向けを中心に堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は224億３千９百万円(同2.5％増)、営業利益は17億６千６百万円（同5.4％減）となりました。

（その他事業）

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は９億５千７百万円(同26.2％減)となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、１億４千８百万円の損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は1,678億３千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ106億２千３百万円増加致しました。これは、「受取手形及び売掛金」が増加したことなどにより流動資産が76億１千１百万円増加したこと及び「投資有価証券」が増加したことなどにより固定資産が30億１千１百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は1,026億４千万円となり、前連結会計年度末と比べ33億８千２百万円増加致しました。これは、「支払手形及び買掛金」が増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は651億９千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ72億４千万円増加致しました。これは、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月10日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	153,000	9,200	8,900	5,600

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,659	29,256
受取手形及び売掛金	43,501	48,658
有価証券	161	194
たな卸資産	23,036	24,648
その他	3,080	2,296
貸倒引当金	△90	△93
流動資産合計	97,349	104,961
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,994	19,895
その他（純額）	22,085	22,699
有形固定資産合計	42,079	42,595
無形固定資産		
その他	1,041	1,122
無形固定資産合計	1,041	1,122
投資その他の資産		
投資有価証券	12,292	15,694
その他	4,613	3,710
貸倒引当金	△165	△249
投資その他の資産合計	16,741	19,156
固定資産合計	59,862	62,873
資産合計	157,211	167,835
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,032	33,913
短期借入金	22,855	22,528
1年内返済予定の長期借入金	8,338	9,618
未払法人税等	1,713	952
賞与引当金	2,032	1,095
環境対策引当金	120	179
固定資産解体費用等引当金	148	541
その他	4,553	4,678
流動負債合計	67,795	73,507
固定負債		
長期借入金	22,030	21,139
退職給付引当金	6,620	4,955
役員退職慰労引当金	444	410
関係会社整理損失引当金	295	165
環境対策引当金	634	543
その他	1,437	1,917
固定負債合計	31,462	29,132
負債合計	99,257	102,640

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	39,255	42,698
自己株式	△91	△92
株主資本合計	58,397	61,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,569	3,304
繰延ヘッジ損益	△16	△18
為替換算調整勘定	△3,829	△2,053
その他の包括利益累計額合計	△2,276	1,232
少数株主持分	1,833	2,123
純資産合計	57,954	65,195
負債純資産合計	157,211	167,835

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	113,613	119,242
売上原価	94,945	100,156
売上総利益	18,668	19,085
販売費及び一般管理費	11,907	12,571
営業利益	6,761	6,513
営業外収益		
受取利息	34	43
受取配当金	184	195
持分法による投資利益	44	91
為替差益	116	357
その他	660	639
営業外収益合計	1,041	1,326
営業外費用		
支払利息	532	505
その他	132	125
営業外費用合計	664	630
経常利益	7,137	7,209
特別利益		
固定資産売却益	3	58
受取保険金	437	57
その他	110	55
特別利益合計	552	172
特別損失		
固定資産売却損	12	58
減損損失	179	－
固定資産解体費用等引当金繰入額	－	435
その他	266	260
特別損失合計	458	753
税金等調整前四半期純利益	7,230	6,627
法人税、住民税及び事業税	2,022	1,707
法人税等調整額	397	430
法人税等合計	2,420	2,138
少数株主損益調整前四半期純利益	4,810	4,489
少数株主利益	166	124
四半期純利益	4,644	4,365

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,810	4,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	1,753
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	15	1,779
持分法適用会社に対する持分相当額	40	178
その他の包括利益合計	△34	3,710
四半期包括利益	4,776	8,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,605	7,874
少数株主に係る四半期包括利益	171	325

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	17,381	60,608	12,425	21,902	1,296	113,613	―	113,613
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	239	18	53	0	11,309	11,621	(11,621)	―
計	17,620	60,626	12,479	21,902	12,605	125,235	(11,621)	113,613
セグメント利益（営業利益）（△損失）	2,950	3,353	2,277	1,866	△193	10,255	(3,494)	6,761

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,494百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	17,819	64,732	13,294	22,439	957	119,242	―	119,242
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	284	17	52	40	11,736	12,131	(12,131)	―
計	18,103	64,750	13,346	22,479	12,693	131,373	(12,131)	119,242
セグメント利益（営業利益）（△損失）	2,915	3,012	2,358	1,766	△148	9,904	(3,391)	6,513

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,391百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。